医歯学総合研究科 口腔先端科学教育研究センター 研究助成事業
第 19 回 [2026(令和８)年度] 口腔先端科学教育研究センター 歯系研究発表会 応募要項

発表会の概要

本発表会は、国際的に通用する卓越した能力を有する若手研究者の育成を目的とし、大学院生、歯学部学生、歯系教員・医員・研究生等(以下、歯系研究者)による研究の成果を発表する場を設け、優れた発表に対して表彰状と副賞(研究助成金)を授与するものです。

▶ 日　時：**2026(令和 8)年 12 月 19 日(土)**

▶ 会　場：**歯学部講義実習棟　第四講義室，医歯学総合研究科棟１　３階エレベーターホール**

▶ 参加者：歯系大学院生(原則として全員参加；1 日通して参加した場合「医歯学研究講義」３単位として認定)、歯学部学生、歯系研究者
※全参加者には、研究発表内容に関する守秘義務が課せられます。
※感染症の流行状況により、開催形式の変更や参加者数の制限を行う可能性があります。

▶ プログラム(予定)：

08:50～09:00	開会式	12:00～13:00	昼食・休憩
09:00～11:00	口演発表	13:00～13:40	昨年度受賞者による講演
11:00～12:00	ポスター討論	13:40～14:00	授賞式・閉会式

▶ 発表形式：
【口　　演】運営が準備したノートパソコン(Windows)を用い映写。発表 9 分＋質疑 4 分(予定)。
【ポスター】11 月下旬に、ポスターの PDF ファイルを manaba 上に掲示し、評価者による質疑応答を行います。発表会当日は、印刷したポスター(幅 110 cm×高さ 145 cm)を医歯学総合研究科棟 1 の 3 階エレベーターホールに掲示し、質疑応答を行います。

演題募集

▶ 応募資格：歯系大学院生、歯学部学生、歯系研究者に限ります。大学院博士課程 4 年生(在籍年数が５年以上の者を含みます。以下同じ。)と同 3 年生は、必ず応募してください。やむを得ず応募しない場合は、所属分野の教授(不在の場合は兼担教授)から「発表辞退理由書」を提出してください(Microsoft Forms による)。

▶ 発表内容：発表者が中心となって実施した研究の成果とします。ただし、大学院博士課程 1 年生と同２年生は、研究計画等でも差し支えありません。

▶ 発表形式：下表のとおり発表者の属性ごとに発表形式(口演かポスター)を指定していますが、応募状況によって変更をお願いすることがあります。発表に用いる言語は、日本語または英語とします。非母国語としての英語での発表は、「発表技法」の評価に加点されることがありますので積極的に行ってください(口演のみ)。

<table>
<tr><th colspan="2">発表者</th><th>応募</th><th>発表内容</th><th>発表形式</th></tr>
<tr><td rowspan="4">歯系大学院生
（博士課程）</td><td>4 年生</td><td rowspan="2">必須</td><td rowspan="2">研究成果</td><td>口　　演</td></tr>
<tr><td>3 年生</td><td rowspan="3">ポスター</td></tr>
<tr><td>2 年生</td><td rowspan="5">任意</td><td rowspan="2">研究成果 又は
研究計画等</td></tr>
<tr><td>1 年生</td></tr>
<tr><td rowspan="2">歯系大学院生
（修士課程）</td><td>2 年生</td><td rowspan="3">研究成果</td><td>口　　演</td></tr>
<tr><td>1 年生</td><td>ポスター</td></tr>
<tr><td colspan="2">歯学部学生</td><td>ポスター</td></tr>
<tr><td colspan="2">歯系研究者</td><td>口演 又は ポスター</td></tr>
</table>

▶ 応募方法：演題登録フォーム(Microsoft Excel ワークブック XLSX 形式)を口腔先端科学教育研究センター歯系研究発表会のウェブページ(URL は末尾に掲載)からダウンロードし、必要事項を記入してください。それを演題登録用ウェブフォルダ(鹿児島大学 Web File Service 受取フォルダ)へ提出してください。なお、抄録は公開に支障が無い内容にしてください。

▶ 応募締切：**2026(令和８)年９月 30 日 午後５時 厳守**

発表形式の決定方法

大学院博士課程４年生・修士課程２年生(以下、大学院最終学年生)及び口演を希望する歯系研究者の人数の合計が口演発表の枠を超過する場合には、下記の手順により発表形式を決定いたします。

①演題登録時：１分野から大学院最終学年生が２人以上あるいは口演を希望する歯系研究者が２人以上発表する場合は、演題応募の際に大学院最終学年生の間、歯系研究発表者の間それぞれに「口演発表を行う優先順位」を演題登録フォームに記入してください。複数の者に同一順位が付されている場合は、同一順位者の間で乱数により抽選します。発表内容を全く考慮しません(以下同じ)。

②すべての歯系研究者がポスター発表を選択した場合は、口演発表の枠のすべてを大学院最終学年生に当てます。そうでない場合には、１枠を歯系研究者に、残りの枠を大学院最終学年生に当てます。

③全分野から優先順位が最高である大学院最終学年生を１人ずつ口演発表の枠に割り当てます。ただし、発表する大学院最終学年生が１人以上いる分野の数が口演発表の枠を超過している場合は抽選します。

④枠が空いている場合は、発表する大学院最終学年生の人数が多い分野から２人目を割り当てます。大学院最終学年生の人数が同じである複数の分野の間では、抽選し順序を決めます。

⑤口演を行うことが決定した大学院最終学年生の人数が最も少ない分野から歯系研究者の発表者を選びます。口演を行う大学院最終学年生の人数が同じである複数の分野の間では、抽選し順序を決めます。

表彰と評価方法

▶ 発表評価：

【評価員】全分野から選出された准教授以上（不在の場合は講師・助教でも可）の教員２名（口演発表・ポスター発表各１名）が評価員となります。原則として、口演発表の評価員とポスター発表の評価員を兼ねることはできません。

【評価方法】口演発表とポスター発表それぞれ所定の評価票に基づき「発表内容」と「発表技法」を評価します。この評価とは別に、ポスター発表については、参加者全員（発表しない者も含む）による投票で獲得票数上位の演題を発表します。

▶ 最終選考：優秀発表の最終選考は、発表終了後に開催する口腔先端科学教育研究センター運営委員会臨時会議で行い、授賞式で選考結果を発表します。

▶ 表　彰：

発表部門	賞	授賞対象者
口　　演	口腔先端科学最優秀賞	大学院生・歯系研究者
	口腔先端科学優秀賞	
ポスター	口腔先端科学最優秀賞	
	口腔先端科学優秀賞	
	口腔先端科学奨励賞	歯学部学生

- **最優秀賞・優秀賞を受賞した大学院生は、次年度に開催される先端歯学スクール(先端歯学国際教育研究ネットワーク主催)への派遣候補者となります。**
- 受賞者へのお願い：次年度に催されるオープンキャンパス、大学院説明会、歯系研究発表会等で関連する内容の発表をお願いすることがあります。ご協力いただければ幸いです。

歯系研究発表会のウェブページ

https://w3.hal.kagoshima-u.ac.jp/ercaos/compe.html

「演題登録フォーム」のファイル(Microsoft Excel ワークブック XLSX 形式)、「発表辞退理由書」および「事務局への問い合わせ」フォーム(Microsoft Forms)へのリンク等が掲載されています。

問い合わせ先

第 19 回 口腔先端科学教育研究センター歯系研究発表会 事務局（顎顔面放射線学分野）

▶ 担　当：田中 達朗

▶お問い合わせ：電子メールではなく、上記の歯系研究発表会ウェブページにリンクが掲載されている「事務局への問い合わせ」フォームをお使いください。ご協力をお願いします。